

第 4 号

本小の教育「授業研修会」

4年特設

◦授業スタンダード期「授業の型づくり期」

本日の公開授業は、特別支援教育・ステップ1組の「照屋るみ子」先生です。るみ子先生は4年3組（比嘉真紀子先生）にて、『特別支援教育・脳の引き出し』の特設授業を行いました。さゆり先生とはまた違うタイプで、ベテランの味を出していました。また、我が子「ニノ葉」の協力学級である子供達への「理解と協働」を求める「親心の愛」に溢れた授業内容でした。真紀子先生との連携も良く、4年3組の子供達の日頃からの「支持的風土づくり」「学級経営」の良さが垣間見られる45分間でした。とても良いものを観た(愛に溢れた)満足感で一杯です。

■ 4年3組（特設）「照屋るみ子（比嘉 真紀子）」先生 2校時目



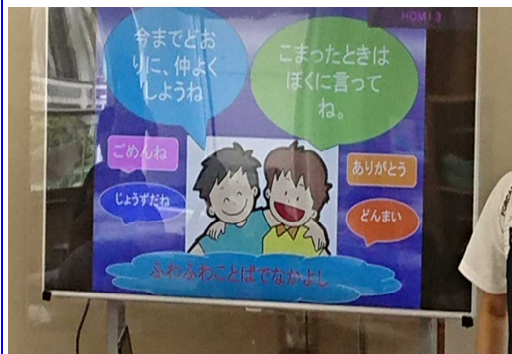
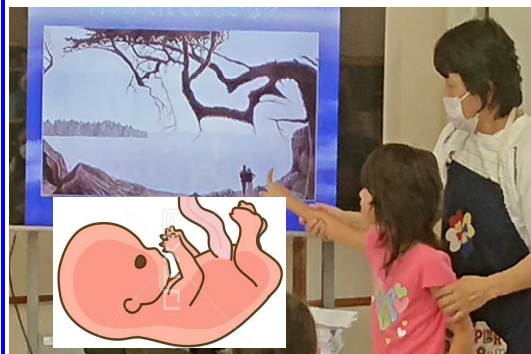
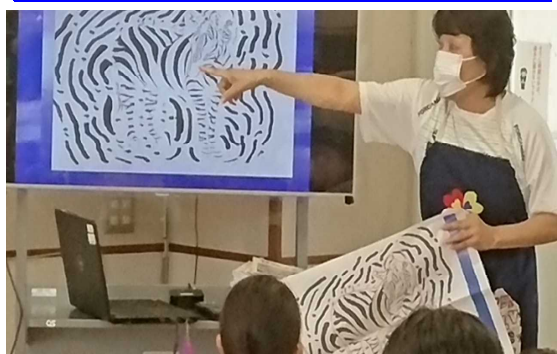
【児童の手(学習規律)】



【教室の色(支持的風土)】



【教師の眼(教師の姿勢)】



「ニノ葉」さんがTVに映し出された時の「二の葉」さんの表情がとても良かった。

■「本日の学習の大まかな流れ」■

- [始め] 全員で揃えて、始めの挨拶
[導入] 約束ごと。口は閉じて拳手する
[展開] 3+2を提示。答えは、全員OK!
- 心理学、だまし絵①「シマウマ」
 - だまし絵②「母体の中の赤ちゃんの図」
 - 【気づいた子がいた。ビックリ!!!】
 - 学習に関する「脳の引き出し」
 - 感情に関する「脳の引き出し」
 - 嬉しい言葉「フワフワ言葉」
 - 大きなハート → 「セロトニン」が
 - ステップ1組の「ニノ葉」のお話し
- [終末] 本日の振り返りを行う
(ふ) 3人に発表。(担任も振り返り)
(あ) 終わりの 挨拶。(けじめ良)

【安心・所属・承認】の気持ちを

- 持たせる「教師の発言・態度」など
- ・「Nは、4年3組の皆が、大好きなんだよ」
 - ・「いつでもNは、4年3組へ行くことをとても楽しみにしてるんだよ。・・・」
 - ・「それは、皆がNに優しく声をかけるから」
 - ・「体育の時、縄跳びを教えてくれた●君・」
 - ・「いつも声かけしてくれる●さん、・・・」

【感想】 「脳の引き出し」 全ての子供達に必要な、大切な「特設授業」です。 本日に有難うございました。

- 昨日は「女優・さゆり」の一人舞台上に魅せられたが、本日はベテランの持ち味「親心」に感動した。
- 前半は、「脳と心の問題」を一人一人の問題として落とし込み、後半は、「ニノ葉」の事を話し出した。
- 脳の引き出し「特設授業」の必要性を感じた。「他人を許す」「自分の事を発表できる」「自己肯定感」
- 自己肯定感のみでなく、共感的他者理解、自己・他者共に存在価値などにも広く繋がっていくものだ。
- 特別支援教育に、インクルーシブ教育に必要不可欠であり、本校の子供達には欠かせない授業である。
- 今回の授業は、「子供の安心感、所属感」、受け容れる「承認」の感情にアプローチした授業でした！



校長より